

朝晩の着がえ介護

パジャマ⇔きちんとした服

不要です

本人が
意味を理解できず
抵抗される

無理やりしてる・・・

忙しくて
ほっと
できない

一緒に笑う時間がない・・・

昔から
持っている
本人の服が
着がえにくい

ボタンが多い、伸びない・・・



ワンマイルウェア

=寝ても楽、近所へのお出かけもOKな
ちょっとおしゃれな服 を選べば



汚れた時や、本人も介護者もゆとりがある時の
着がえでいいんです



私も、夫の介護で実践しました。
「認知症と服」のリーフレットを見て、
つい最近看取った夫の介護では、朝晩の着替えをやめました。
自分だけでなく、本人が楽そうだったので
本当によかったと思いました。(70代女性・介護福祉士)

認知症と看取りの専門施設
「北白川の花の家」
inochinohana.net

認知症

になったら

「やらなければ」との思いこみから、本人も辛く、介助者も生活や楽しみを失うことがないように

それまでと同じ生活じゃなくていいんです

認知症になる前に見直しが大切なこと

家・お金

管理・処分の方法は

家族・人間関係

一緒に過ごしたい
人・時間・方法

生活習慣

衣食住・癒し・趣味

残したい
大事な
生きがい

やめたい・
変えたいこと

生活動作

食事・排泄・移動・清潔

介助でして
ほしいこと

自分でできる範囲で
いいこと

ケガ・持病悪化・
感染症・老衰
予防と治療

苦痛緩和を中心に
してほしいか

できる限り
延命を望むのか

高齢になれば、これまでの生活動作が衰え、小さなきっかけでも亡くなるのが自然です。備えられるうちに、暮らしを見直し、実際に介護してくれる可能性がある人と話しておきましょう。大事にしたいこと、介助者側の限界などなど。

本人に代わって決める家族も、無理にそれまでと同じ状態を維持しなくて大丈夫。

「本人も介助者も日々を楽に、楽しむ」を基準に変えていきましょう。



認知症と看取りに特化した老人ホーム「花の家」



@INOCHINOHANA_OFFICIAL

〒606-8222

京都市左京区田中樋ノ口町31

日本いのちの花協会

☎(075)723-2909

居宅介護支援・訪問介護・住宅型有料老人ホーム・アートスペース



次世代の福祉と医療を考える展示をしています

inochinohana.net